

平成30年度市立芦別病院における医療事故等の一括公表

レベル	件数			説明	
	平成30年度	平成29年度	差引増減		
インシデント	レベル0	30件	23件	7件	内容:被害がなく観察が不要 <平成30年度の主な事例> ○透析の機械を準備する際、装着する薬液の種類が間違っていたが、透析前のWチェックで気づいて正しい薬液に変更した。 ○採血のスピッツを作り間違えたが、採血前に気づき正しいスピッツで実施した。
	レベル1	277件	258件	19件	内容:何らかの影響を与えた可能性があり、観察の強化や検査の必要性が生じたが、患者さんには不利益がなかった。 <平成30年度の主な事例> ○外来処置室で採血し帰ろうとしたところ、手前の椅子に引っかかって転倒したが、外傷や痛みなく帰宅された。 ○6時予定の点滴が施行されていないことに8時に気づいた。主治医へ報告し、8時から開始するように指示を受け施行した。 ○胃ろうから栄養を注入している途中で接続が外れ、栄養が漏れてシーツを濡らしてしまった。
	レベル2	49件	34件	15件	内容:簡単な処置のみで、患者さんの生活に支障を与えなかった。 <平成30年度の主な事例> ○訪室時、右手背に1cm程度の皮膚剥離があり出血していた。ベッド柵にぶつけたようで、処置を行った。 ○杖歩行が安定していたためフリー歩行となり、消灯前までは問題なくトイレへ行っていたが、21時30分廊下を歩行中に転倒して尻もちをついた。外傷はないが、腰痛を訴えシップを貼付して経過観察となった。 ○夜間のオムツ交換で訪室すると、セーフティパジャマとシーツが点滴の薬液で汚染されていた。確認するとCVカテーテルを自己抜去し、後日再度挿入した。
計	356件	315件	41件		
アクシデント	レベル3	0件	2件	-2件	内容:新たな病態・病名が発生して治療が必要となった。 <平成30年度の主な事例> ○なし
	レベル4	0件	0件	0件	内容:事故による障害が長年にわたって続く。 <平成30年度の主な事例> ○なし
	レベル5	0件	0件	0件	内容:事故が死因となった。 <平成30年度の主な事例> ○なし
計	0件	2件	-2件		
合計	356件	317件	39件		